

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/ischimaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の
情報は
大学HPで。

安藤さん・鈴木さんが敢闘賞



木村准教授、鈴木さん、安藤さん（左から）。鈴木さんの手には大会用に構築したロボット

ツール・ド・東北2025 学生が協力 大会盛り上げる



サイクリング愛好会のメンバーと一般参加者



ゴール地点で学生たちが声援を送った

入試相談会

事前予約制

11/23 日・祝
【13:00~15:30】

プログラム

- 理工学部新学科説明会 ●キャンパスツアー
- なんでも入試相談 ●パネル展示

【詳細・予約】

観光用オブジェ制作

理工・高橋研



「金華」のオブジェと制作した庄子さん、志賀さん、千葉さん（左から）

3Dプリンター活用 金華山休憩所に設置

3人にとって観光用オブジェの制作は初めての試み。デザインのアイデア出しから始め、旧年や金華山にちなんだものなど、さまざまな案を入念に検討。最終的に「金華」の文字と鹿の角を組み合

わせたものに決めた。設計は、授業で学んだCADのスキルを生かして行い、4台の3Dプリンターを使って約80個のパーツを制作した。一つずつ丁寧にやすりをかけて接合し、最後に金色の塗装をして仕上げた。

デザインから完成までかかった期間は約3カ月。設置台を含めたオブジェの高さは約1・8メートル。無事に設置作業を終えた3人は「大学で学んだ知識を、実際のものづくりに活用できて良かった。オブジェの前で多くの人に記念撮影してもらえたうれしい」と話

9月20日、いわて県民情報交流センター（アイーナ）で開催されたETロボコン2025東北地区大会に、理工学部情報電子工学科4年次の安藤聡太さん（宮城県聖和学

園高）と3年次の鈴木鴻さんのチームが出場し、敢闘賞を受賞した。

ETロボコンは、組み込みソフトウェアの技術を競うロボットコンテストで、三つのクラスで競技が行われる。安藤さんと鈴木さんは、フィジカル部門プライマリークラスに株式会社マイナビEdge（東京都港区）と産学連携チーム「Isicafeinate」を結

成して臨んだ。同部門では、実機をコース上で走らせ、チェックポイントの通過タイムや難所のクリアボーナスなどで順位を競う。本番に向けた準備はロボットの構築から始まり、ロボットの動作を示す設計図の作成、プログラミング、レプリカコースの設置など多岐にわたった。計画通りに準備が進まないこともあったが、木村健司准教授の指導のもと試走と改良を重ね、徐々に自信を深めていった。

安藤さんは「実機の制御や調整に苦労したが、試行錯誤するなかで問題解決力が大きく向上した」と手応えを語った。鈴木さんは来年度の大

会も見据え、敢闘賞という結果をとめうれしく思う。今後もスキルアップを目指したい」と、さらなる成長を誓った。

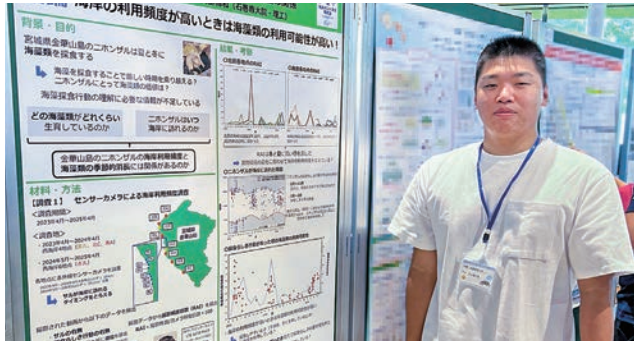
理工学部機械工学科の学生3人が手掛けた観光用オブジェが、9月17日から石巻市の金華山休憩所に設置されている。12年に一度の金華山巨歳御縁年大祭に合わせて制作されたもので、多くの参拝者を出迎えている。石巻観光協会からの依頼を受け、3Dプリンターの活用に取り組み高橋智研究室が制作を担当した。メンバーは4年次の志賀柚月さん（宮城県気仙沼高）、庄子玲樹さん（宮城県多賀城高）、3年次の千葉稜太朗さん（宮城県登米総合産業高）。



ミニ大学祭初開催

9月20日、イオンモール石巻で、ミニ大学祭が開かれ、多くの市民らが楽しんだ。石巻祭に関心を持ってもらい、地域と大学・学生をつなぐことを目的とした初の試み。石巻祭実行委員会を中心に企画を進め、実行委員会と漫画研究会によるものづくりワークショップ、吹奏楽研究会や現代芸術研究会によるステージパフォーマンスが行われた。また、SDGs企画として人間学部の山内武巳ゼミが睡眠とウォーキングをテーマとした企画を実施し、関心を集めた。

研究成果をポスター発表した大山さん



海洋ベントス学研究室 大山さん 学生優秀発表賞を受賞

大学院理工学研究科生命科学専攻の海洋ベントス学研究室（研究指導教員・阿部博和准教授）に所属する修士課程2年次の大山雄太郎さんが、2025年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会（9月9・12日、仙台市）でポスター発表を行い、日本ベントス学会の学生優秀発表賞を受賞した。

発表タイトルは「金華山島の二ホンザルにおける海岸利用頻度と海藻類の利用可能性の関係」。

金華山島に生息する二ホンザルは、海産物採食という珍しい行動を見ることが知られており、2年間に及ぶ継続的な調査を通じて、海岸利用頻度が高いときには海藻類の利用可能性が高いことを明らかにした。

大山さんは「研究に協力してくれた方々に感謝したい。今回の受賞をうれしく思う。これからも研究活動に励み、新しい発見ができるように精進したい」と話している。

宮城県沿岸を自転車で行ける「ツール・ド・東北2025」（主催：一般社団法人ツール・ド・東北、河北新報社）が9月13、14日の両日、発着点である本学をメイン会場に開催された。

本学は、2013年の第1回大会から継続して運営に協力している。12回目となる今年も、硬式野球部の有志がボランティアで沿道から応援したり、現代芸術研究会とダンス愛好会がステージ企画に参加したりして、大会を盛り上げた。

当日は秋晴れのもと、全国から2000人を超えるライダーが集結。本学からもサイクリング愛好会の学生が「北上フォンド（100キロ）」に出場した。

8月から行われていた南東北大学野球秋季リーグ戦が終了した。本学硬式野球部は東日本国際大学（茨城県）と、外野手大、東北公益文科大学と最終まで優勝を争ったが、7勝3敗で惜しくも3位となった。

今季は、岡本寛太さん（経営4・新潟県新井高）、尾身祐豪さん（経営2・新潟県中越高）の両エースが投手陣をけん引。野手陣では、一塁手の磯部大河さん（経営3・埼玉県山村国際高）、外野手熊本真希さん（経営2・熊本市立大）の2人が打率3割を超える活躍を見せた。

今季は、岡本寛太さん（経営4・新潟県新井高）、尾身祐豪さん（経営2・新潟県中越高）の両エースが投手陣をけん引。野手陣では、一塁手の磯部大河さん（経営3・埼玉県山村国際高）、外野手熊本真希さん（経営2・熊本市立大）の2人が打率3割を超える活躍を見せた。

入場無料
10/26日 祭
11:00~14:00
専修大学神田キャンパス
10号館1階エントランスホールほか
石巻専修大学と専修大学の学生が石巻市の魅力をPRする体験型イベント。石巻焼きそばの無料提供、ワークショップや物産展など多彩な企画を予定。
詳細は専修大学・石巻専修大学のHP等でご確認ください。